

授業科目名	世界の歴史	科目コード	配当年次	単位
担当教員	由川 稔	GA03	1	2
科目の概要				
<p>従来の「世界史」は、西洋史、東洋史などという枠組みに縛られ、単なる歴史的事実の羅列をしてきた感がある。世界の成り立ちを理解するには、一地域、一時代の詳細を知るより、まず全体の体系を把握し、イメージすることが大切である。世界の枠組みが四大文明から世界の諸地域へ、そしてユーラシア大陸、大西洋を経て地球全体に広がり、ついには「近代国家（国民国家）」が誕生する。</p> <p>本科目では、こうした流れに沿って歴史を眺めることにより、既存の世界史とは異なった体系から世界の歴史についての理解を深める。</p>				
科目の到達目標				
<p>①人類社会の拡大について、自然環境と人間の関わりを意識しつつ、「4つのステージ」（4大文明の誕生と地中海へと拡大していく文明⇒イスラームが世界を主導する⇒世界を圧倒するヨーロッパ膨張の時代⇒変容を迫られる伝統世界）の枠組みを視点として、大局的に理解できる。</p> <p>②様々な問題の原因を歴史的視点から探るとともに、わが国の歴史や文化との関連性について考察できる。</p>				
テキスト	『「いま」を読み解くための世界史』宮崎 正勝（監）、池田書店、2013年			
テキストの読み方				
<p>①基本レポートのはじめにある「総説」に書かれている4つのステージの枠組みをしっかりと把握する。</p> <p>②最初に、目次を見ながら、じっくりと読む。</p> <p>③何度も読み返して、十分に理解を深める。</p>				
単位修得の方法				
<p>①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p> <p>または、</p> <p>②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。</p>				